

指標 3.9.2

指標名、ターゲット及びゴール

指標 3.9.2 安全ではない水、安全ではない公衆衛生及び衛生知識不足（安全ではない WASH（基本的な水と衛生）にさらされていること）による死亡率

ターゲット 3.9 2030 年までに、有害化学物質、並びに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。

ゴール 3 あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

定義及び根拠

○ 定義

年間の「安全ではない水、安全ではない公衆衛生及び衛生知識不足（安全ではない WASH（基本的な水と衛生）にさらされていること）による」と定義されている死亡者数を日本人人口で除したものであり、人口 10 万人当たりで表される。

○ 概念

「安全ではない水、安全ではない公衆衛生及び衛生知識による死亡」とは、WASH による下痢（ICD-10 コード A00、A01、A03、A04、A06-A09）、腸管線虫感染症（ICD-10 コード B76-B77 及び B79）並びに蛋白エネルギー栄養障害（ICD-10 コード E40-E46）により死亡した者とした。

○ 根拠及び解釈

人口動態調査は、各自治体に提出された死亡届を元に死亡票を作成し、死亡票に記載されている死因や状況の記載により原死因を特定している。その原死因から「安全ではない水、安全ではない公衆衛生及び衛生知識による死亡」と特定されたものを年間で積み上げたものが「安全ではない水、安全ではない公衆衛生及び衛生知識による」死亡数としている。

データソース及び収集方法

人口動態統計

算出方法及びその他の方法論的考察

○ 算出方法

安全ではない水、安全ではない公衆衛生及び衛生知識による死亡（ICD-10 コード A00、A01、A03、A04、A06-A09、B76-B77、B79、E40-E46 の合計）率 =

年間の安全ではない水、安全ではない公衆衛生及び衛生知識による死亡（ICD-10 コード A00、A01、A03、A04、A06-A09、B76-B77、B79、E40-E46 の合計）数 / 年間の日本人人口 × 100,000

○ コメントと限界

人口動態統計では「安全ではない水、安全ではない公衆衛生及び衛生知識による死亡」という項目での統計は取っておらず、ICD-10 コード別の死亡数のみ算出している。

SDGs の定義では、該当 ICD-10 コードを全て足し上げた数値を「安全ではない水、安全ではない公衆衛生及び衛生知識による死亡」としている。

データの詳細集計

年齢階級（5 歳階級）別に算出は可能であるが、膨大なデータファイルとなるため、総数データを掲載する。

参考

人口動態統計

データ提供府省

厚生労働省

関連政策府省

国土交通省、環境省

担当国際機関

世界保健機関（WHO）